

ほっと・ねっと

も捨てられるペットの数と比べればとても需要はまかない切れないのが実情だ。

動物と人間の信頼関係を取り戻そう―ペットブームにつきまとう悲しい現実
は、捨てられる動物が絶えないこと。徳島市助任本町二、獣医師・中川忠重さん、ミは知人や獣医仲間にペット救済の活動を呼びかけ、一九八八年四月、ユニークな「動物の里親をさがす会」(近森憲助代表)を結成。毎月第三日曜日(十二

ブームの

避妊手術も思いやり

動物の里親をさがす会 獣医らが救済活動

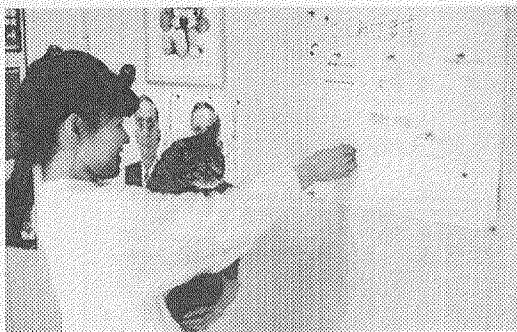
徳島

二月を除く)に徳島市内の公園を利用して、同会に持ち込まれる犬や猫の飼い主をさがす会を開いている。後一カ月目に徳島市内のデパート前で子猫十三匹の引き取り手をさがしたところ、次から次へと里親を申し出るひとが現れた。これが、猫は今にも出産しそ

「里親をさがす会」。生まされた子犬や捨てられた猫たち。しかし「里親をさがす会」で、私が引き取るという約束で産ませたんです。生後一カ月目に徳島市内のデパート前で子猫十三匹の引き取り手をさがしたところ、次から次へと里親を申し出るひとが現れた。これが、猫は今にも出産しそ

限に子どもを産ませ、捨てられては困る。さびしさを紛らわしてくれる動物から私たちが受けている利益のお返しをし、お互い仲良くいきいていこうというのが、会員の願い」。会の生みの親、中川さんも「産んだ子を育てられない場合、動物に避妊手術をしてやるのも思いやり。せつなく引き取ってもらっても、その犬や猫の産んだ子がまた会に持ち込まれるケースだってあるんです」と悩みを語る。

情報交換の場所提供 岡山 動物病院にボード掲示



「差し上げます」「譲って下さい」。岡山県玉野市植ヶ原の倅(かせ)山動物病院(倅山和重院長)の待合室には小さなボードが下

「差し上げます」「譲って下さい」。岡山県玉野市植ヶ原の倅(かせ)山動物病院(倅山和重院長)の待合室には小さなボードが下

張り出すのは雑種のみ。商売をしているわけではなく、昭和五十五年の開業以来、めでたくな組以上の「仲人」を飼い主たちが、病院の作っ

果たした。圧倒的に「差し手術料は二、三割は安くした用紙に自由に書き込んで上げます」が多いのが悩みである。

昨年11月に開かれた「動物の里親をさがす会」

